

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2019-118737 (P2019-118737A)  
 【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-029  
 【出願番号】特願 2018-2427 (P2018-2427)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 12 日 (2019.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

扉が開閉可能な遊技機であって、

前記扉が開放状態であることを検出可能な開放状態検出手段と、

少なくとも前記扉が前記開放状態であるときに設定値を変更するための設定変更許可状態に制御可能な設定変更制御手段と、

遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な特定制御手段と、

遊技媒体が前記特定領域を通過したことに基づいて、遊技価値を付与可能な付与手段と、  
を備え、

前記設定変更許可状態に制御されているか否かにかかわらず、前記扉が前記開放状態であるときに遊技価値の付与が制限され、

前記設定変更モードに制御されている状態において、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定制御が実行されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 に示すように、複数段階の設定値を外部からの設定変更操作に基づいて変更する設定変更手段を備える遊技機が提案されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報（段落 0 0 0 7）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献 1 に記載されたような遊技機では、設定値を変更するときに、遊技媒体の付与に関する制御を適切に実行する必要がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定変更許可状態に制御可能なものにおける遊技価値の付与に関して適切な制御を実行できる遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

（A）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

扉（例えば、遊技機用枠 3、ガラス扉枠 3 a）が開閉可能な遊技機であって、

前記扉の開放状態を検出可能な開放状態検出手段（例えば、遊技機用枠 3 が開放状態となっていることを検出可能な遊技機枠開放センサ、ガラス扉枠 3 a が開放状態となっていることを検出可能な扉枠開放センサ）と、

少なくとも前記扉が開放状態であるときに設定値（例えば、大当り判定用乱数の範囲が異なる設定値 1 ～ 6）を変更するための設定変更許可状態に制御可能な設定変更制御手段（例えば、ステップ S 2 1 T M 3 1 2 0、ステップ S 2 1 T M 3 5 4 0 ～ステップ S 2 1 T M 3 6 0 0 を実行可能な遊技制御用マイクロコンピュータ 1 0 0）と、

遊技媒体が特定領域（例えば、第 1 始動入賞口、第 2 始動入賞口）を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な特定制御手段（例えば、始動入賞に基づく特図ゲームを実行する遊技制御用マイクロコンピュータ 1 0 0）と、

遊技媒体が前記特定領域を通過したことに基づいて、遊技価値（例えば、パチンコ玉）を付与可能な付与手段（例えば、払出制御用マイクロコンピュータ 2 1 T M 3 7 0）と、を備え、

前記設定変更許可状態に制御されているか否かにかかわらず、前記扉が前記開放状態であるときに遊技価値の付与が制限され（例えば、遊技機用枠 3 が開放状態となっており、ガラス扉枠 3 a が開放状態となっておりときには、払出制御用マイクロコンピュータ 2 1 T M 3 7 0 が、払出モータ 2 1 T M 2 8 9 を駆動しないことにより、球貸処理及び賞球処理における遊技媒体の払出を実行しない）、

前記設定変更モードに制御されている状態において、遊技媒体が前記特定領域を通過したときに前記特定制御が実行されない（例えば、設定変更モードでの入賞無効）

ことを特徴とする。

このような構成によれば、設定変更許可状態に制御可能な遊技機における遊技価値の付与に関して適切な制御を実行することができる。

また、従来 of 遊技機として、特開 2 0 1 6 - 1 0 1 4 2 8 号公報で示されているような

、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機がある。このような遊技機において、さらに演出効果を高めることが望まれている。

( 1 ) 上記目的を達成するため、本願の他の形態の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 8 - 2 ( D )、( F )）。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。